



下呂市 議会だより

GERO CITY
assembly

73

令和4年8月1日



【令和4年6月13日 金山小学校議場見学】

下呂市立金山小学校6年生の児童35名の皆さんが社会科の校外学習として、下呂市議会の議場見学を訪れました。議長席や議員、執行部の席に座って、議会の雰囲気を感じてもらいながら、議長や副議長の話聞いて、疑問に思ったことなど、たくさん質問をいただきました。学校での授業とは違い、実際に見たり聞いたりしながら議会の仕組みについて学び、自分たちが暮らすまちのことについて、関心をもってもらったのではないのでしょうか。

CONTENTS

- 4月臨時会の報告(審議結果、議長副議長挨拶、委員会活動方針) (P 2~P 5)
- 6月定例会の報告(審議結果、委員会報告) (P 6~P 7)
- 一般質問で13人が市政を問う (P 8~P14)
- 政務活動費の報告、議会への意見提案箱 (P15)
- 市民と議会との意見交換会、9月定例会日程、編集後記 (P16)

4月臨時会の報告

4月25日、令和4年第3回下呂市議会臨時会を開催し、専決処分された条例改正の承認と、コロナ禍が長期化する中で、効果的な観光客誘致対策事業の実施などに係る一般会計補正予算を可決しました。

また、議長選挙、副議長選挙を行い、議長に今井政良議員、副議長に尾里集務議員が選出されました。この他、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員選任などを行い閉会しました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【①市長提出議案、②議会委員会提出議案】

議案名		審議結果	
①	専決処分の承認について（下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法施行令の一部改正に伴う条例改正の専決処分について承認を求めるもの。	承認 (全会一致)	
	専決処分の承認について（下呂市税条例等の一部を改正する条例） 地方税法等の一部改正に伴う条例改正の専決処分について承認を求めるもの。		
	下呂市固定資産評価員の選任について 市の人事異動に伴い、下呂市固定資産評価員に税務課長を選任することについて、議会の同意を求めるもの。		同意 (全会一致)
	令和4年度下呂市一般会計補正予算（第2号） コミュニティ自主防災組織育成事業助成金の確定による増額、観光客誘致対策事業の内容変更に伴う補正。		可決 (全会一致)
② 議会改革特別委員会委員の定数の変更に関する決議について 委員会の円滑な運営を図るため、委員定数を増員するもの。			

濃飛横断自動車道堀越峠工区事業促進大会

5月14日、郡上市で行われた「高規格道路濃飛横断自動車道堀越峠工区事業促進大会」に議長、副議長および濃飛横断道・リニア特別委員会の委員が出席しました。

郡上八幡から和良間の濃飛横断自動車道最大の難所と言われる郡上工区（堀越峠）が、国による権限代行実施の検討を行うための調査箇所を選定されたことから、調査区間の早期事業化に向けて、気運を高めました。

今後も、沿線市村（中津川市、郡上市、東白川村）の各議会と連携を強化しながら、濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会と一丸と

なり、国、県をはじめ関係機関に強く働きかけていきます。



ガンパロー三唱

新体制でスタート



議長 今井 政良
いまい まさよし

新型コロナウイルス感染症の発生から2年半が経とうとしています。

下呂市においては、あらゆる業種で甚大なる影響を受けられ、市民生活にも変化がありました。議会としても一日も早い終息を願ひ、コロナ対策、支援策等に全力で取り組んでまいります。

さて、下呂市では、ここ数年で三度の甚大なる豪雨災害が発生しました。自然災害に強いまちづくりのために、下呂市管内では災害復旧工事、屏風岩改良・門原防災・馬瀬川上バイパス工事等が進められています。その早期完成に向けた対応に努めてまいります。

一方で、下呂市の課題であります少子高齢化問題、それに伴う人口減少対策、および福祉施設や病院、子育て施設での人材確保、高齢者独居世帯への対応等について、市民の皆さま、関係者の皆さまのご意見をお伺いしながら、議会で討論してまいります。

旧下呂温泉病院の跡地利用については、議会特別委員会で執行部から進捗状況の説明を定期的な受けながら、議会として市民の皆さまに活用していただける計画となるよう努めてまいります。

また、議会基本条例に基づき、市民福祉の向上および下呂市の発展に寄与するため、議員間で課題を共有し、議員相互の連携を図り、議会運営に取り組んでまいります。

副議長 尾里 集務
おざと あつむ

平成28年4月に下呂市議会議員として初当選させていただきました。これまで、産業経済常任委員会の正副委員長、特別委員会の正副委員長など重責を担う役割を経験させていただきました。この度、副議長に就任させていただきました。

下呂市議会基本条例に則り、市民の皆さまの代表としての自覚を持ち、下呂市民全体の生活の向上を目指して活動してまいります。

議会活動としましては、2年半にわたるコロナ禍により、議会本来の活動が充分できない状況でありましたが、今後、そのような中においても、タブレット端末の活用やSNS、動画共有サービス等の新たな手法を活用して、開かれた議会を目指した情報発信の充実に努めてまいります。

また、議会運営については、今井議長をしっかりとサポートし、議会基本条例に掲げる目的や議会および議員活動の原則に基づき、議員相互の自由な討議を尊重しつつ、公平・公正で円滑な議会運営、そして、不測の状況下においても議会機能を低下させることのないようにしっかりと努めてまいります。



各委員会の委員・活動方針

議会運営委員会

- 定数 7人
- 委員長 伊藤 厳悟
副委員長 田中 喜登
委員 田口 琢弥
森 哲士
中島 ゆき子
中島 新吾
中島 達也

活動方針

議会運営委員会では、定例会と臨時会の会期や議案の取扱いなどの議会運営全般について協議し、意見調整を行います。

また、市民の皆さまからの請願や要望の審査も行います。

総務教育民生常任委員会

- 定数 7人
- 委員長 森 哲士
副委員長 鷺見 昌己
委員 飯塚 英夫
尾里 集務
田中 副武
中島 新吾
中島 達也

活動方針

本会議で当委員会に付託された議案等について慎重審査します。

特に、新型コロナウイルス感染症

の終息が見通せない中、教育・福祉・医療など市民生活に大きく関わる施策が、適切な時期に効果的に進められているか調査研究します。

また、人口減少、および少子高齢化対策に向け、「移住・定住」に重点を置き、併せて将来を担う子どもたちのため、雇用の確保および地域活性化が図られているか、行政サービスが行き届いているか、市内の現状を把握すると共に、他の自治体の事例などを調査し、市民の皆さまが安心して暮らせる下呂市となるよう、市民ニーズに応えた政策立案・提言に取り組みます。

産業経済常任委員会

- 定数 7人
- 委員長 中島 ゆき子
副委員長 田中 喜登
委員 田口 琢弥
今井 政良
伊藤 嚴悟
一木 良一
吾郷 孝枝

活動方針

本会議で当委員会に付託された議案等について慎重審査します。

近年、未曾有の災害が多発し、市内でも大きな災害が発生しています。災害を未然に防ぐ「事前防災対策」に係る施策が、適切かつ効果的に進められているか調査研究します。

さらに、国道41号「屏風岩改良」、「門原防災」の早期完成に向け、市と共に推進していきます。

また、上下水道関係では、人口減少に伴う料金収入の減少と、老朽化した施設の更新等、今後の課題解決に向けて政策立案・提言に取り組みます。

予算特別委員会

- 定数 13人
- 委員長 田中 副武
副委員長 飯塚 英夫
委員 議長を除く全員

活動方針

予算特別委員会は、本会議から付託された予算案を集中的に審査するため、本会議の議決により設置された特別委員会です。

市執行部から提出された新年度予算については、将来を見据えた財政運営が可能なものとなっているか、市民目線で公平なものとなっているか、そして、市の諸課題解決につながるものかなどの観点で審査を行います。

また、突発的な災害対応や経済情勢の変化に対応するための補正予算では、財源の確保や当初予算がどのように変更されたのか、緊急性を要するもののかなど、慎重に審査を行います。併せて、予算執行状況の確認も視野に入れて活動していきます。

決算特別委員会

- 定数 13人
- 委員長 田中 喜登
副委員長 森 哲士
委員 議長を除く全員

活動方針

9月定例会に上程される令和3年度の各会計の決算について、各事業における目的の達成度、住民サービスとしての充実度、効率、公平性等の観点から、予算が適正で合理的に執行されたかなどを慎重に審査します。

また、昨年度に引き続き、委員会内で出された事業の新設・継続・拡充・廃止等の意見を集約し、次年度の予算編成に反映されるよう、政策の提言にも取り組んでいきます。

下呂駅周辺エリア等整備特別委員会

- 定数 13人
- 委員長 飯塚 英夫
副委員長 田中 琢弥
委員 議長を除く全員

活動方針

昨年度、旧下呂館跡地等の利活用を検討した地域再生計画の一部である観光交流センター「湯めぐり館」が完成しました。今年度は、引き

続き、(仮称) イベント広場整備工事が進められています。今後、利活用について市民の皆さまと共に検討していきます。

幸田地区の幸田2号線電線共同溝整備事業(無電柱化事業)が、計画通りに進められている中、本年度、市では旧下呂温泉病院跡地活用委員会を設置して整備に向け議論する方針が示されました。跡地利用の計画に市民の皆さまの声が反映されるよう、慎重に審査を進めます。

濃飛横断道・リニア特別委員会

●定数 7人

委員長 中島 達也
副委員長 鷺見 昌己
委員 田口 琢弥
森 哲士
田中 喜登
伊藤 厳悟
吾郷 孝枝

活動方針

濃飛横断自動車道は、リニア中央新幹線岐阜卓駅を活かした主要都市や交通拠点とのアクセス改善として、また観光アクセス道路、災害時の緊急迂回道路として、地域の強靱化と経済効果をもたらす重要な道路です。今年度、郡上八幡から和良間の郡上工区(堀越峠)において、国直轄による権限代行実施に向けた調査が行

われることが決定しました。この機を失うことなく、濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会と歩調を合わせ、早期事業化に向けた要望活動等に取り組んでいきます。

議会改革特別委員会

●定数 7人

委員長 田中 副武
副委員長 飯塚 英夫
委員 鷺見 昌己
田口 琢弥
尾里 集務
中島ゆき子
中島 新吾

活動方針

昨年に引き続き、『未来の下呂市と一緒に考えましよう』をテーマに「議会への意見・提案箱」を設置し、寄せられた市民の皆さまからのご意見やご提案を反映した政策提言へとつなげるよう努めていきます。また、コロナ禍で中止していた「市民と議会との意見交換会」について、自治会等からの申込みに応じ、議会から出向く形式での開催を計画しています。

昨年4月には「議会基本条例」を制定しました。条例に規定された事項を着実に実行するため、必要な調査研究を行うなど、議会改革に向けた取り組みを継続しながら、市民の皆さまにとって身近で開かれた議会の実現を目指します。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

●定数 13人

委員長 田中 喜登
副委員長 鷺見 昌己
委員 議長を除く全員

活動方針

未だ市内で新型コロナウイルス感染者発生が連日のようにあるものの、幸いにも爆発的な感染拡大に至っていません。今後、しっかりと状況を注視し、戻りつつある社会経済活動、および市民の皆さまの安心・安全な日常生活を守るため、施策の取組状況を審査・検証し、状況に応じた有効な対策が取られるよう、市執行部に対し提言を行っていきます。

また、市民の皆さまの代表として、さらなる基本的な感染拡大防止対策の徹底に努めます。

広報広聴特別委員会

●定数 5人

委員長 田口 琢弥
副委員長 鷺見 昌己
委員 森 哲士
尾里 集務
中島ゆき子

活動方針

本年度も引き続き、「市民と議会との意見交換会」をはじめ、「議会への意見・提案箱」などにより、市民の皆さまからの議会活動や、市政に関するご意見、ご提案などを積極的に取り入れる活動に取り組んでいきます。

また、「議会だより」では、8月1日号のほか、11月、2月、5月の発行を予定し、議会での審議内容や各委員会の活動状況等を紹介していきます。

また、「市民と議会との意見交換会」や「議会への意見・提案箱」に寄せられたご意見や、議会改革の取り組み、政務活動費の活用状況等についても紹介していきます。

さらに、今年度から新たな取り組みとして、広く市民の皆さまに議会活動を知っていただけるよう、本会議および常任委員会の付託案件の審査状況についてインターネットライブ配信を行っています。また、常任委員会の付託案件審査に係る会議録と資料もホームページに掲載していきます。

今後、わかりやすい新たな議会情報の発信方法について検討を重ね、市民の皆さまに寄り添いながら開かれた議会を目指します。



6月定例会の報告

6月3日から6月24日までの22日間において、令和4年第4回下呂市議会定例会を開催しました。初日には、4月中旬から下旬の豪雨により被災した市道の災害復旧に係る補正予算の専決処分の承認や、新型コロナウイルス感染症対策等に係る補正予算などを可決しました。

また、最終日（6月24日）には、条例改正、新型コロナウイルス感染症による影響に対する下呂市の第8次総合対策に係る補正予算などを可決しました。

上程議案と審議結果

○全会一致で可決した議案【市長提出議案】

議案名	審議結果
専決処分の承認について（令和4年度下呂市一般会計補正予算（第3号）） 令和4年4月中旬から下旬の豪雨により被災した市道の速やかな災害復旧に向け、測量設計費および工事費を補正する専決処分について承認を求めるもの。	承認 (全会一致)
財産の取得について 下呂市消防団下呂方面隊第4分団第1部（焼石）に配備する消防ポンプ自動車1台を購入（更新）するもの。	可決 (全会一致)
高機能消防指令システム更新工事請負契約の締結について 高機能消防指令システムを更新する工事請負契約を締結するもの。	
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第4号） 子育て世帯生活支援特別給付金および新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用を補正するもの。	
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う下呂市固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について 租税特別措置法、租税特別措置法施行令の改正に伴い、条例を改正するもの。	
下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について 老朽化した市営住宅（御滝団地）の一部を用途廃止するため、条例を改正するもの。	
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第5号）	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	
令和4年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）	
令和4年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	
令和4年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第1号）	
令和4年度下呂市水道事業会計補正予算（第1号）	
令和4年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第1号） 新型コロナウイルス感染症対策、通常の事務事業、歳入および財政運営等に係る費用を補正するもの。	
令和4年度下呂市一般会計補正予算（第6号） 新型コロナウイルス感染症による影響に対する下呂市第8次総合対策に係る費用を補正するもの。	

○報告案件

議案名
令和3年度下呂市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
令和3年度下呂市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
令和3年度下呂市水道事業会計予算繰越計算書の報告について

総務教育民生常任委員会

6月20日、定例会初日に付託された2議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な審査内容は次のとおりです。

『下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について』（老朽化した市営住宅の一部を用途廃止するため、条例を改めるもの）

Q 現在、当該住宅に入居している方への対応は。

A 入居中の方全員に個別に説明し、移転について了承いただいています。移転時期、移転先については検討中です。

Q 今後の市営住宅の需要見込みと用途廃止に伴う新築の考えは。また、高齢化による市営住宅の高層階への入居に対するバリアフリー等の対策は。

A バリアフリー化のための改築等は、現状考えはないが、支援が必要な高齢者については優先的に1階への移転を進めています。

現在の入居率は86.3%であるが、高齢者の高層階への入居等の課題があり、今後、市営住宅のニーズを調査し、新設も視野に入れて検討していきます。

予算特別委員会

6月22日、定例会初日に付託された7議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。

また、6月24日、定例会最終日に追加提出され、当委員会に付託された1議案について審査した結果、こちらも可決すべきものと決しました。

主な審査内容は次のとおりです。
《養護老人ホーム職員の処遇改善について》

※本年2月からの介護職員処遇改善（一人月額9千円引上げ）において対象外となっている養護老人ホーム職員も同様な処遇改善を行うための増額補正

Q 今後、さらなる介護人材不足が危惧されるが、国や県に任せるのではなく、市独自に実態の把握を確実にいき、適時にしっかりと対応ができる体制の構築が必要であるが、市の考えは。

A 国の介護保険制度の中で手当てされない養護老人ホーム等に係る職員の処遇改善については、人材確保という観点からも市独自の施策として継続していきます。

《新型コロナワクチン接種について》

※コロナワクチン接種（4回目を含む）に係る令和4年9月末日まで

での委託費等の増額補正

Q 4回目のコロナワクチン接種の申込み状況は。

A 5月30日から、3回目接種以降5カ月を経過した方に随時接種券を発送しています。6月21日現在で約2,030名の方に発送を済ませ、200名程度の方の予約を受けています。現状、医療従事者の方の先行接種が進んでおり、今後、予約件数が増えてくるものと想定しています。

Q これまでの接種後の副反応等から4回目接種を控える傾向がある中で、使用期限を迎えたワクチンの廃棄が懸念されるが、その対応は。

A 県からワクチン配付計画が示され、その計画に基づき、ワクチンの使用期限を考慮しながら、余剰が出ないように計画的に接種を進めています。

《地球温暖化対策活動の推進について》

※脱炭素社会に向けた住宅への太陽光発電設備等設置費補助制度を創設するための増額補正

Q 一般住宅に対する再生可能エネルギーの普及啓発を進める中で、市は公共施設において模範を示す必要があるが、その考えは。

A 公共施設については、学校施設において有利な補助金を活用して実施させていただきました。今後、環境省を中心とする地球温暖

化対策実行計画に基づき事業展開し、有利な補助制度等を模索しながら実施していきたいと考えています。

《新型コロナウイルス感染症による影響に対する総合対策について》

※地域経済の回復を図り、停滞する市民生活・社会経済活動を支援するための増額補正

Q 原油価格・物価高騰に対応した一般市民への直接的な支援策が今回の総合対策に盛り込まれていないが、どう考えているのか。

A いろいろな世代等に十分配慮した市民全般への対策であると考えています。市民全員への支援ということ、地元応援商品券の配布を期待される動きも確かにありますが、その実施時期や効果も明らかに見定めながら、必要であれば実施していきたいと考えます。

Q 輸入飼料の値上がりにより打撃を受ける畜産農家に対する粗飼料価格高騰対策補助金について、補助交付の対象期間は。

A 本年4月から来年3月までの期間を対象としています。粗飼料の購入に対し、四半期ごとに昨年と比べ高くなった差額、1トン当たり9千円を限度として、その半額を補助するものです。

一般質問 13人が市政を問う



1 番
驚見昌己議員

公共交通について

①下呂市地域公共交通網形成計画に掲げられている「地域に支えられた持続性のある交通ネットワーク構築」の現状は。

◆まちづくり推進部長

市民の皆さまの利便性が上がるよう限られた予算の中で取り組んでいる。利用者アンケート等により、料金や時刻表の改定を行っている。

②地域内における利便性向上のためのドアトドア交通導入への取り組みの進捗は。

◆まちづくり推進部長

新しい技術や地域資源の活用により、地域公共交通を補完する仕組みづくりが必要になる。課題を把握し、公共交通に限らず、あらゆる方面からの対策を講じたい。

③路線バスの利用率を高めるための方策は。

◆まちづくり推進部長

検討次第となるが、市職員による公共交通利用日等を年に数回設けるなど、利便性向上に対し、職員からの意見も取り入れるような

取り組みも検討したい。

Jークレジット制度を活用した取り組みについて

①地域に合った適正な間伐を行うことにより、樹木の成長を促し、温室効果ガスの吸収量を増やす必要があるが、市有林管理の現状は。

◆農林部理事

順次間伐や作業道開設などの整備を進めている。

令和3年度に3カ所、今年度は7カ所の調査を進めており、今後事業者を選定して整備を進めたい。

②下呂市における炭素蓄積量と炭素吸収量は。

◆農林部理事

市内民有林の炭素蓄積量は536万トン、1年間に吸収している炭素量は3万8千トンであり、県が算出した県内民有林の1年間の吸収量の約10%を占める。

③Jークレジット制度活用により、林業の活性化と共に、森林が持つ重要な機能を多くの人や企業に知ってもらう必要があると考えますが、現状と今後の取り組みは。

◆農林部理事

市内事業者によるJークレジットの登録や販売の実績はない。林野庁、県の動きを注視し、市内事業者にも制度の活用を働きかけると共に、市有林での登録も検討していく。



4 番
森哲士議員

消防団の今後の活動内容について

①消防団員の処遇改善について年額報酬と出勤報酬（災害時）が改善されたが、個人支給することによる問題点と課題は。

◆消防長

部によっては活動費の実質的な減少も考えられるが、今後の活動状況や意見等を注視しながら、問題や課題が生じないよう適切な消防団運営に取り組む。

②消防操法大会の今後の見通しは。

◆消防長

来年度以降は各方面隊の操法競技会は廃止し、下呂市消防操法大会のみとする。訓練期間なども統一して、団員、家族、職場への負担軽減を図っていく。

③「持続可能な消防団」に向けた考えは。

◆消防長

全方面隊で訓練、行事を統一し、知識、技術のレベルの均等を図りつつ、団員の負担の軽減を考慮して実施していく。消防団や自治会と協議しながら、分団等の統合を

視野に入れ、持続可能な体制づくりを進める。

④消防団と自主防災組織の連携についてどのように考えているか。

◆消防長

地域防災力の強化は重要であり、地域の特性に合った消防団の指導や助言の充実に努める。

◆総務部長

消防団と自主防災組織の連携は大変重要な事だと認識している。ふるさと納税の今後の取り組みについて

①特定の目的に限定したふるさと応援寄付メニュー創設の考えは。

◆観光商工部長

下呂市の方針・計画を伝え、取り組みに賛同いただく必要がある。計画の主管課などと実施の是非を検討していく。

②今年度の目標額と取り組み方針は。

◆観光商工部長

今年度、予算上の寄附目標額を5億円に設定している。返礼品数のさらなる増加、登録事業者への研修会の開催、情報発信力の強化に取り組む。

③活用内容のさらなる周知は。

◆まちづくり推進部長

ホームページ等での周知については、写真等の掲載でわかりやすいお知らせになるよう努める。



8 番
田中副武議員
(公明党)

地方創生臨時交付金の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応」が創設された。

①生活支援として、学校給食費等の負担軽減がある。食材調達の見直しは、

◆教育委員会事務局長

市場価格の影響を受けにくい調理を引き続き継続し、現状の給食の質と価格の維持を目指す。食品価格の高騰がさらに加速すれば、価格上昇分の補填などの措置も視野に入れる。

◆福祉部長

◆環境水道部次長
現在の物価高騰に関して、水道料金の減免は考えていない。

◆環境教育の推進について

SDGsやカーボンニュートラ

ル達成に向けて、「エコスクール・プラス」は、学校施設を通じて環境問題・対策を学ぶ機会となっている。ZEB化事業に取り組むことも重要であるが、その考えは。

◆教育長

施設、運営、教育といった面からエコスクールとしての環境教育の場が提供されるよう努力していく。未来を担う子どもたちがより環境問題を身近に感じられるような環境づくりに努める。

◆アレルギー疾患対策について

厚労省は、3月に「アレルギー疾患対策基本指針」を5年ぶりに改正した。保護者らにアレルギー疾患に関する正しい情報を伝え、保健指導を通じて予防に取り組むと、保健指導の強化を掲げている。全国に拠点病院が指定され、今後連携が図られると思われるが、市の対応は。

◆市民保健部長

保健師や管理栄養士が保健指導により、情報提供を行っている。今回の改正に伴い、「小児のアレルギー疾患保健指導の手引き」を改正予定であり、保健指導に活用していく。県アレルギー疾患医療拠点病院との連携協力体制が図られており、市医師会などと協力し、これらの普及啓発に努めていく。



7 番
中島ゆき子議員

◆下水道事業の現状と課題について
①一般会計から繰り入れされた基準外繰入金令和3年度決算額は、

◆環境水道部次長

令和3年度の基準外繰入金決算額は、4億5,198万2千円。
②一般会計から繰り入れされる基準外繰入金を減らす取り組みは。

◆環境水道部次長

収入の増額と支出の減額による収支の改善に取り組む必要がある。運営が厳しい小さな処理区において、区域全体を合併処理浄化槽に転換することによる施設維持管理費の削減を計画している。
③下水道料金について、下呂市上下水道運営委員会では、どのような検討がされているか。

◆環境水道部次長

基準外繰入金を解消するための値上げは必要であることを説明した。大幅な改定案であるため、段階的に改定する案や、水道料金改定を見計らいながら検討していくことも示した。

◆ごみの減量化と一般廃棄物の収集方法について
①ごみを資源として有効活用していくため、現在、リサイクルされている品目は。

◆環境水道部長

飲食料用あきかん、それ以外の缶、金物類、飲料用あきびん、陶磁器製の食器、ペットボトル、新聞、雑誌、段ボール、羽毛ふとん、小型家電製品、特定家電となっている。

②旅館・飲食業における食品ロスを減らす取り組みは。

◆環境水道部長

県の制度で、食べ残しを減らす取り組みを行う旅館、飲食店を募集している。登録件数の増加に努めていく。

各旅館、飲食店等で工夫されているが、関係団体との情報交換、連携を行い、食品ロス削減の推進に向け取り組んでいく。

③ごみ袋を使用しない回収ボックスの設置の進捗状況は。

◆環境水道部長

設置後の運営主体の在り方や、資源回収等関係団体との協働の仕組み等について、市内にモデル地区を設けて検証していく。意見交換等を重ねて、3カ月程度を実証実験の期間として実施していきたい。



5 番
田中喜登議員

あさぎりサニーランド等の今後について

①あさぎりサニーランドの指定管理者である下呂福祉会から施設運営・整備に関する提案書が提出されたと聞いている。それを踏まえた市としての施設の更新に係る考えは。

◆福祉部長

下呂福祉会が作成した「将来構想」をバックアップする形で、その実現を目指す。大きな財源を必要とし、市の高齢福祉施策においても大きな影響を及ぼす事業となることから、将来像の実現に向けて関係者と共通理解を図りながら、協議を進めたい。

②あさぎりサニーランドをはじめ、市内の高齢者福祉施設では、慢性的な人材不足の状況が続いている。この危機的な状況を打開するための市としての方策は。

◆福祉部長

介護人材の確保は、全国的にも大きな問題となっている。下呂市では介護保険事業計画に基づき、

職員の確保対策として主に、採用数の増員、職員の負担軽減に取り組んできた。今後は、先進地事例も含めて、事業者の方々と協議・協力しながら、さらに有効性の高い事業を検討していきたい。

新子育て支援施設の整備について

今年度予算に、新子育て支援施設の実施設設計業務委託料が計上されているが、具体的にどのような施設になるのか。

◆福祉部長

構造は木造2階建て、延べ床面積が642・60㎡、乳幼児とその母親を対象とした子育て支援センター、児童館、フリースクール、図書コーナー、相談室、会議室等を配置する。

内装や玩具等は、できる限り木製を取り入れ、木育の場となるような空間とし、乳幼児から18歳未満の子どもや保護者の利用を想定している。利用方法については、子ども子育て会議等で考えていただき、有効に活用していく。



13 番
中島新吾議員
(日本共産党)

中小企業・農家など市内の経営に対する支援を強める

コロナ禍の中で、原油高、ウクライナ情勢、円安等によって、経営を取りまく状況は厳しさを増し、「先行きへの不安」が深刻になっている。中小事業者や農家の現場からの声を受け止めて、しっかりと現場に寄り添う支援を。

◆観光商工部長

インボイス制度は経営に重大な問題となることから、中止を国に求めること。

市の支援策と合わせて、県の支援制度の申請サポートや、商工会とも連携し、引き続き周知していく。

インボイス制度は、中小事業者の相談が増加すると予測される。相談先や導入準備に係る国の補助制度の周知などに努める。

◆農林部長

家畜飼料の高騰が畜産農家の経営を圧迫している。粗飼料については、コロナ禍および物価高・原油高に対する下呂市第8次総合対

策の中で支援策の検討を進める。
市のDX推進計画の策定について
国の推進計画は2025年为目标としている。それに対応する市の計画の策定はいつか。その計画の内容は、職員・市民との合意形成が大事である。

◆まちづくり推進部長

県のDX推進計画が令和4年3月に策定されたことなどを踏まえ、令和5年度に計画策定に着手したい。策定委員会への市民参画など、市民、職員との合意形成に努めていく。

市の温室効果ガス排出削減計画の策定と具体的な取り組みを

◆環境水道部長

脱炭素社会実現のため、市役所において全部署が関わり、一体となつて取り組んでいく。

アルミ缶・スチール缶プレス損害賠償事件について

成立した調停を確実に実行するための対応は。(スチール缶プレスの搬出)

◆環境水道部長

まずは申立人敷地内に残存する缶プレスの現状を確認するための日程調整を行っている。6月下旬には立ち入り、数量、保管状況など確認する予定である。



3 番
飯塚 英夫 議員

脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて

①社会情勢の変化等に応じ、2018年に策定した「第2次下呂市地球温暖化対策実行計画」の見直し予定は。

◆環境水道部長

今年度において計画の全面的な見直しに着手したい。県で現在策定中の実行計画との整合性の確保が必要であり、その工程と具体的施策について検討していく。

②公共用地を利用した新たな太陽光発電設備等の設置計画は。

◆まちづくり推進部長

現時点では、公共用地等への太陽光発電設備等の設置計画はない。

③公用車、または準ずる車両のEV化とカーシェアリングの実施計画は。

◆まちづくり推進部長

EVを毎年一定台数購入する考えはない。なお、更新優先車両に小型車両が含まれる場合は、EV化を積極的に考えていく。

カーシェアリングの実施計画は

ないが、将来の課題として、導入の是非を検討していく。

子ども関連の施策について

①組織再編により「こども家庭課」が設置されて2カ月が経過した。これまでの取り組み状況は。

◆福祉部長

保健、福祉、教育、医療、雇用などに関係する機関や団体が密接に連携して支援を行っており、この仕組みを強固なものとし、より充実した支援に取り組む。

②従来からの育休制度や新設される「産後パパ育休」について、市職員の認知度は。また、市民への周知の状況は。

◆総務部長

今年度当初に職員説明会で周知している。今後、さらなる周知と取得しやすい職場環境の整備、ハラスメント対策を講じていく。なお、男性職員の現時点の育休取得者はいない。本取り組みを先導し、企業へ波及させていくことが重要と考える。

③一時的な物価高騰等に対する生活支援特別給付金のみならず、継続的な子育て世代の負担軽減のための支援についての考えは。

◆福祉部長

子育て支援は重要な政策であり、市としても一層の充実を図り、子育て世代の負担軽減に努めていく。



6 番
尾里 集務 議員

観光客の駐車場について

①下呂温泉街への観光客は、コロナ禍等で旅行形態が個人旅行に変わり、自家用車利用が増加している中で、駐車場の確保をどのように考えているか。

◆観光商工部長

地元のご理解をいただきながら、しばらくは旧下呂温泉病院跡地を暫定的に利用することで対応したい。

②市役所下呂庁舎に隣接した旧JAひだ下呂支店の活用の検討はできないか。

◆まちづくり推進部長

さまざまな活用の可能性が考えられるが、対象となる土地および建物は、現在もJAひだ所有であることから、市として活用方を具体的に示すことは控える。

観光交流センター(湯めぐり館)の活用について

4月にオープンした観光交流センター(湯めぐり館)の運営状況と今後の活用促進に向けた取り組みは。

◆観光商工部長

4月、5月の来館者は1万2,238人と、多くの観光客にご利用いただいた。今後もイベント利用や5Gを活用した観光DXの取り組み等が計画されている。

各振興事務所や各地域の観光協会等と連携し、各種観光情報の充実と蓄積を進め、積極的に活用していきたい。

空き家対策について

①市内でも空き家が増えつつある中、それらが廃墟と化する前の早期の対策が必要と考えるが、市としての取り組みは。

◆建設部長

老朽空き家解体の補助金制度の活用を含め、管理不全のまま放置される状態を未然に防げるよう、国、県の関係機関や自治会、民間事業者と連携して、適正な管理の促進に向けて取り組んでいく。

②「下呂市空き家等紹介制度」により、移住定住希望者に空き家情報が紹介されているが、その登録物件は適切に管理されているのか。

◆地域振興部長

本制度は、空き家をお探しの方に登録物件を紹介する橋渡しの制度である。物件自体の管理はあくまで所有者であり、所有者において適切に管理されていると理解している。



2 番
田口琢弥 議員

今後の市役所下呂庁舎について

耐震補強工事が行われた市役所下呂庁舎ではあるが、今後の建て替えの計画は。

◆まちづくり推進部長

現時点で具体的な建て替え計画はない。庁舎の建て替え等には有利な補助金等が見込めないことから、庁舎等整備基金を創設し、将来の庁舎整備に備えたい。

下呂市クリーンセンターにおけるコロナ対策とごみ袋の現状について

①クリーンセンターに持ち込まれる新型コロナウイルス感染により自宅療養をされている方々が排出したごみの処分方法は。

◆環境水道部長

県が示すガイドラインに沿って感染対策を行ったものを家庭ごみとして収集運搬し、焼却処分している。

②多くの自治体で、ごみ袋不足が報道されている。現在の下呂市の状況は。物価上昇が続く中、今後のごみ袋の価格についての考えは。

◆環境水道部長

発注済のごみ袋は7月中旬以降

に順次納品される予定で、市民の皆さまの生活に影響が出ることはないと考えます。分別や堆肥化の普及推進によるごみの減量化により、家計への負担軽減につなげていきたい。

市からの報道発表および情報公開の在り方について

①先日、新聞報道された「学校給食の異物混入」は、発覚から約1カ月後の発表であったが、その理由は。

◆教育委員会事務局長

原因が特定でき、健康被害が生じる可能性が極めて低いことなどから報道しない決定をした。後口、取材の申し入れがあり、改めて経緯を説明し、正式に報道発表をした。

②市から報道発表する際の基準は。

◆総務部長

基準は設けていない。説明責任や市民を守る情報をタイムリーに提供し、市民の皆さまとの信頼関係の醸成を図る。

③大型事業に係る情報公開（周辺住民への周知）は適切にされているか。

◆総務部長

事業ごとの目的があるため、関係団体等の意見も考慮しながら、目的達成にプラスとなる周知、広報が必要と考える。



12 番
吾郷孝枝 議員
(日本共産党)

コロナの家庭内感染防止と弱者を守る検査の拡充を

コロナ感染は収束の状況ではない。無症状感染者を早期発見、隔離し、家庭内感染を防ぐことが重要になってきている。特に、重症化しやすい高齢者が利用する施設などでの予防的検査や、薬局での無料の抗原検査を6月以降も継続すべきではないか。

また、セルフチェックでできるよう、検査キットの購入助成を求めたい。

◆福祉部長

福祉施設等では、県の施策による抗原検査やPCR検査が無料で実施されているが、6月までとされている。現時点でこの無料検査の延長などの情報は入っていない。

◆市民保健部長

無料検査の継続および拡充、購入助成については、全国的な感染状況や国・県の動向を踏まえて慎重に検討していく。

物価高騰から市民のくらしを守るために

①介護福祉施設での光熱費・食材費などの値上げが、施設運営を脅かしているが、市の支援は。

◆福祉部長

施設の安定経営のために、市としての新型コロナウイルス感染症第8次総合対策の中で支援策を検討している。

②学校給食の食材費の高騰が続く中、質を落とさず、安心・安定して提供するための市の対応は。

◆福祉部長

食材費の値上げによって給食の品数や品質を落とすことがないよう、食材仕入等を考慮し、必要に応じて予算措置も検討していく。

◆教育委員会事務局長

栄養士や調理員の仕込みから調理、仕上げに至るまでの努力により、経費の削減と手づくりによる高品質な給食提供を行っている。

高齢者の健康づくりに温泉施設の活用拡大を

コロナ禍で衰えがちな高齢者の心身の健康づくり推進のため、誰もが地域の宝を、もっと活かして利用できるよう検討を。

◆福祉部長

指定管理者が実施している健康増進事業は、多くの高齢者が参加され、高齢者の健康づくりと将来の介護予防につながっており、重要な健康資源となっている。



14 番
中島達也 議員

下呂水道取水施設改良工事について

計画給水人口（旅館、ホテルを含む）7,600人の下呂水道は飛騨川と滝谷の2カ所を水源として運営されているが、飛騨川からの取水は仮設ポンプで行われている。今後の施設改良計画は。

◆環境水道部次長

1級河川からの取水のため規模な整備はできない。大雨による河川の増水が繰り返され、改良する場合はその方法を十分検討する必要がある。

今後は、定期的に取水位置を変えるなど、河川関係機関との協議を進めながら、安定した取水方法の確立を目指したい。

広域基幹林道下呂萩原線全線開通に伴う森林整備について

昭和63年に工事着工され、その後34年間の長い歳月をかけて全線開通となった。本路線は林道や作業道に接続し、利用区域の拡充が期待されるが、今後の森林整備計画は。

◆農林部理事

今後も森林環境譲与税や各種補助金を活用し、森林経営計画の樹立を促進すると共に、林業関係団体や地元自治会、森林造成組合のご協力を得ながら計画的な森林整備を推進していく。

関係人口創出に向けた取り組みについて

下呂市は人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面している。地域によつては若者を中心に変化を生み出す人材が入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外人材が地域づくりの担い手となることが期待されるが、市の取り組みは。

◆地域振興部長

「ふるさとワーキングホリデー事業」として、都市部の若者が2週間程度市内に滞在し、農業や観光業界等で働きながら、地域住民との交流や地域との関わりをつくる就労型の関係人口創出事業を実施している。本年度も25名の若者を募集する。

また、民間、地域レベルでも交流やイベント・体験プログラム等の参加による交流型の関係人口創出の取り組みが行われている。



10 番
伊藤厳悟 議員

南飛騨国際健康保養地周辺および山之口エリアの活用について

①南飛騨健康増進センター周辺の活用について。

◆まちづくり推進部長

市による指定管理に向けた動きは、実現可能であるか否かも含めてさらなる検討が必要である。活性化に向けては、地元自治会をはじめ関係者の皆さまと協議しながら、積極的に検討を進めていきたい。

②皇樹の杜の有効活用について。

◆農林部理事

今年度、4年ぶりに「下呂みどりの祭り」を開催する予定である。森林を使った環境学習や林業体験など規模を拡大し、多くの方々へ皇樹の杜を楽しんでいただきたい。

③森林環境学習の場としての利用計画について。

◆農林部理事

皇樹の杜や岐阜大学演習林で、森のようちえんや小学校による森

林環境学習が実施されている。将来を担う子どもたちが森林に親しみ、学ぶ絶好の機会であり、森林環境譲与税を活用して講師を派遣するなど活動を支援している。

◆地域振興部長

位山自然の家の在り方、活用については、南飛騨健康増進センターなどの活用と共に、四美・山之口エリアの振興策として地元自治会をはじめ関係者の皆さま、関係部局と連携・協議しながら、民間活用も含め検討を進めていきたい。

社会・文化等に貢献された郷土出身者に敬意を表す方策について

対象者がある場合、名誉市民等の条例、選考委員会等が設置されているか。

◆総務部長

功績のある該当者に下呂市名誉市民の称号を贈り、顕彰することを目的とする条例を制定している。選定委員会設置に関しては、条例に示されていないが、広く市民に尊敬され、郷土の誇りであることが重要事項となるため、選考する上で広く理解が得られる委員会等を設置する必要がある。



11 番
一木良一 議員

小坂町森林組合について

①小坂町森林組合の現在の経営状況は。

◆農林部理事

常勤の組合長、会計等を担う一般職員1名、森林技術者4名、指導等を行う契約社員1名の計7名、非常勤の副会長1名、理事7名で経営されている。

②令和3年度の決算内容に対する市の見解は。

◆農林部理事

決算では、流動比率168%と良好な数値を示しているが、過去の補助金返還等の影響が大きく残っており、非常に厳しい状況と言える。一方で、経営を立て直すために努力され、成果が表れていることも受け止められる。

③今後の組合の存続について。

◆農林部理事

組合長は、「厳しい状況ではあるが、改善の兆しが見えており、存続できるよう取り組んでいく」と述べられている。森林組合は地域の森林を適正に維持・管理する

ために欠かせない存在であり、まずは組合の意向を尊重したい。南ひだ森林組合と下呂総合木材市売協同組合について

支援策についての考えは。

◆市長

下呂総合木材市売協同組合の事業を南ひだ森林組合が継承していただくことは大変ありがたく、歓迎している。事業継承により、さまざまな立場でご意見や心配をされる方もいるため、今後の運営について注意深く見守っていきたい。

火葬場および火葬業務について

①施設の老朽化と築年数、耐震化の必要性は。

◆環境水道部長

下呂三原地内の「浄郷苑」は、築33年。「小坂斎場」は、築38年。いずれも昭和56年6月以降の建設で、新耐震基準の建築物であり、耐震性には特に問題ないと考える。

②運営面における管理体制の維持と強化について。

◆環境水道部長

昨年度、下呂市シルバー人材センターから、受託業務を辞退される申し出があり、今年度6月より会計年度任用職員を採用し、当面の間、市が直接火葬業務を行う。今後、火葬施設の計画的な改修と共に、管理体制の維持と強化についても検討していく。

国道257号(仮称)川上第2トンネル 貫通式

7月4日、馬瀬川上にて平成28年度より整備が進められている国道257号(仮称)川上第2トンネルにおいて、貫通式典が執り行われ、市議会から議長、副議長が出席しました。

現道の難所や、線形不良箇所の解消により、安全で安心な交通の確保、観光交流や産業振興の推進を期待して、今後も引き続き、早期完成に向けて工事が進められます。

トンネル延長は1,215メートル。車道幅員は6メートル。



トンネル貫通式

全国市議会議長会表彰伝達

5月に開催されました第98回全国市議会議長会の定期総会において、下呂市議会から2名の議員が表彰を受賞されました。

また、全国市議会議長会の会務運営に係る感謝状が贈呈されました。

6月定例会初日開会前に、議長から表彰状および感謝状の伝達を行いました。

【特別表彰】議員勤続20年以上

○中島達也議員

○中島新吾議員

【一般表彰】正副議長4年以上

○中島達也議員

【感謝状】令和3年度全国市議会議長会 社会文教委員会委員

○一木良一議員



令和3年度政務活動費の交付状況をお知らせします

政務活動費とは、議員の政策形成能力の向上、および議会の審議機能の強化を図るため、議員が市政に関する調査研究活動(政務活動)を行う際に必要な経費の一部として、議員または会派に対し交付されるものです。

本市では、「下呂市議会政務活動費の交付に関する条例」を定め、条例に基づき令和3年10月から交付しています。

政務活動費に係る実績報告書等については、下呂市ホームページにて詳細を公開しています。

◆下呂市議会政務活動費制度のポイント

- 適正と認められた実費だけを後日支給する完全後払い制としています。
- 政務活動費の額は、議員1人当たり年間12万円を交付の上限としています。(令和3年度は下半期分の6万円が上限)
- 政務活動費を充てることができるのは、市政の課題および市民の意思を把握し、市政に反映させる活動、その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に限定しています。
- 政務活動費に係る実績報告書等の公開・閲覧を行うことにより、政務活動費の使途の透明性の確保に努め、議員活動の見える化にもつなげていきます。

◆令和3年度下呂市議会政務活動費交付状況一覧

(単位:円)

議員名または会派名	交付上限額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	実支出額合計	交付確定額
飯塚 英夫	60,000	9,400							40,800	50,200	50,200
森 哲士	60,000			17,840						17,840	17,840
田中 喜登	60,000	27,480								27,480	27,480
中島ゆき子	60,000			56,881						56,881	56,881
田中 副武	60,000							31,812		31,812	31,812
日本共産党(2名)	120,000		10,000					10,946		20,946	20,946
合計	420,000	36,880	10,000	74,721	0	0	0	0	83,558	205,159	205,159

※令和3年10月1日から政務活動費制度施行のため、令和3年度は下半期分(10月~3月)のみ。

下呂市議会への

意見・提案箱

あなたの声を
お気軽にお寄せください

当議会では、議会基本条例に基づき、市民の皆さまから幅広いご意見やご提案をお気軽に出していただける仕組みとして、『議会への意見・提案箱』を設置しています。

お寄せいただきましたご意見やご提案につきましては、個別にご回答はいたしません。議会の中で共有させていただきながら、調査研究課題として議会委員会へ引き継いだり、市執行部に必要な対応を要請したり、市民の皆さまの貴重な声を反映した政策提言へとつなげるよう努めていきたいと考えています。

◆提出方法

①郵便による提出

任意の用紙に、お住まいの地域(小坂・萩原・下呂・金山・馬瀬)、年代、ご意見・ご提案をご記入の上、お送りください。

②ファックスによる提出

①と同様、任意の用紙にご記入の上、議会事務局(ファックス番号057612512833)まで送信してください。

③インターネットによる提出

下記のQRコードから意見・提案フォームにアクセスの上、直接入力してください。



※なお、ご意見等をお寄せいただいた方への内容確認など、ご意見等に対して適切な対応を行うため、差し支えなければ、お名前、ご連絡先をご記入ください。

◆ご意見・ご提案に係るテーマ

●「未来の下呂市 一緒に考えましょう！」
サブテーマ

- 地域を元気にする協働のまちづくり
 - 子育てに関わる現状と将来の展望
 - 地域のつながりと防災力
 - 議会に聞きたいこと、伝えたいこと
- ※右記のテーマによらないご意見・ご提案でもかまいません。

◆その他ご留意いただきたい事項

ご意見・ご提案につきましては、個人情報に配慮した上で市ホームページ等に広くご紹介させていただきます。また、商品のPRや営業、個人に対するひぼう、中傷などにつきましては、固くお断りいたします。

※なお、市長(担当部局)に対するご意見については、直接ご連絡いただくか、各庁舎・振興事務所に設置の「意見箱」(市長宛)、または市ホームページの「市民の声」(お問い合わせ)からお伝えください。

市民の皆さまの声を
ぜひお聞かせください

『未来の下呂市』を議員と一緒に考えましょう

下呂市議会では、市民の皆さまの声を市政に反映させるため、地域の課題や悩みを話し合い、一緒にまちづくりを考える『市民と議会との意見交換会』を開催しています。

令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、従来実施してきた地域（旧町村）単位での集合形式によるものではなく、自治会・町内会や各種団体などの小さな集会にこちらから出向く形式で行います。皆さまからの申し込みをお待ちしています。

■開催主体

自治会・町内会や各種団体等からの申込みを受け開催します。

自治会等単独での開催が困難な場合は、複数の自治会等での合同開催でも受け付けます。

■開催日時および会場

令和4年度は、8月から12月までを開催期間とし、開催日時は、申込団体と協議、調整の上、決定します。曜日、時間帯に制限はありません。開催時間はおおむね60分～90分程度とします。開催場所は、申込団体での確保をお願いいたします。

■意見交換会のテーマ

申込団体において、地域の特定課題等を踏まえてテーマを設定していただきます。

単なる要望や苦情ではなく、建設的な意見交換の場となります。ようご協力をお願いします。

■申込方法

開催希望日の1カ月前までに申込書を提出してください。申込書受理後、開催決定通知書をお送りします。

申込書は、市ホームページからダウンロードしていただくか、議会事務局(電話241222)までご連絡願います。連絡後に郵送します。

※なお、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって、開催を自粛させていただきますことがございますので、あらかじめご了承ください。



9月定例会会期日程(予定)

9月定例会の会期日程(予定)をお知らせします。
なお一般質問などの内容は新聞折込でお知らせします。

月 日	曜日	会議内容	時間
9月 1日	木	本会議(初日)	午前9時30分～
14日	水	本会議(一般質問)	
16日	金	本会議(一般質問)	
20日	火	常任委員会	
21日	水	常任委員会	
22日	木	予算特別委員会	
26日	月	決算特別委員会	
27日	火	決算特別委員会	
28日	水	決算特別委員会	
30日	金	本会議(最終日)	

※日程は変更になる場合があります。 場所：本会議(下呂庁舎3階議場) 委員会(下呂庁舎3階第1会議室)

インターネットライブ配信

本会議および常任委員会(付託案件審査)は、動画共有サービス(Youtube)にてライブ配信を行います。

<https://www.youtube.com/channel/UCALIKRpFipq7Mtpr-rJGKQ>
過去のライブ配信動画は、下呂市ホームページから視聴できます。



編集後記

今年も知り合いの畑の腐葉土でカブトムシの幼虫が沢山育ったそうです。

去年はその幼虫を子どもたちに手作りの飼育カゴに入れて渡しましたが、あまり興味を示さなかったため、今年は幼虫をそのままにしておいたそうです。先日、この事を思い出し、少し分けていただくようお願いしてみると、「なあに、モグラに全部食べられてしまった」と残念そうに答えられました。もう少し早く気が付いていればと後悔されていました。何事も早め早めの行動を。それにしても、今の子どもたち、夏の昆虫に興味ないのかな？(T.T)

下呂市議会だよりがスマホで読めます!!

インターネット上で無料閲覧できる、ギフイーブックスで配信中です。

